

領域プロジェクト名称	日常生活の電力依存度の分析
担当教員	井原 智彦
プロジェクトの狙い	<p>地球温暖化や放射能汚染を引き起こす可能性のある火力発電や原子力発電を避けるために、家庭での電力消費を抑制する動きがあります。</p> <p>しかし、日常生活を解析すると、家庭で直接消費している電力量よりも、間接的に消費している電力量の方が大きい場合があることに気づきます。間接的な電力消費も抑制しなければ、全体として電力消費の抑制にはつながりません。</p>
プロジェクトの内容	<p>本プロジェクトでは、産業連関分析をおこなった上で、その結果を、家計調査や地域間産業連関表などより詳細なデータと連結することにより、さまざまな日常生活の電力依存度を分析します。</p> <p>関連情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ● https://www.jstage.jst.go.jp/article/ilcaj/2011/0/2011_0_4/article-char/ja/ ● http://goods.jccu.coop/brand/environment/carbon.html
プロジェクト開催場所	<p>(柏キャンパス) 新領域環境棟 4階</p> <p>必要に応じて、(本郷キャンパス) 工学部 4号館を使用予定。</p>
プロジェクト計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライフサイクルアセスメント(LCA)や産業連関表・産業連関分析とその応用事例について学びます。また、家計調査、全国消費実態調査や地域間産業連関表など各種の統計について調べます。 2. 産業連関分析を実施することにより、全般的な日常生活と電力消費(火力・原子力・その他)の関係を把握します。 3. 産業連関分析の結果を詳細な統計・データと連結することによって、地域やライフスタイル属性によって異なる日常生活の電力依存度を解析します。 4. 以上の解析結果を用いて、どのような日常生活や電力消費のあり方が望ましいか、を考察します。
ホームページ	http://www.lct.k.u-tokyo.ac.jp